



2021年3月3日
ユーシービージャパン株式会社

「ユーシービーコミュニティヘルスファンド」が COVID-19 支援・研究関連プロジェクトに初の資金提供を実施 ～日本では“一般財団法人あしなが育英会”を選出～

グローバル・バイオフィーマのユーシービーは、同社日本法人であるユーシービージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 菊池 加奈子）を含むユーシービーが活動する地域社会で、弱い立場の人々の健康を支援することを目的に「ユーシービーコミュニティヘルスファンド」を2020年6月に発足させました。そしてこの度、第1回募集の選定結果において、コロナ禍の影響を軽減するためのプロジェクト50件に対して、初の資金提供を実施することを発表いたします。選出されたプロジェクトの中で日本からは、一般財団法人あしなが育英会*が選出されました。

「ユーシービーコミュニティヘルスファンド」の第1回募集は2020年6月から9月の期間にて行われ、ユーシービーが活動する国・地域からCOVID-19に対する支援プロジェクト170件、研究プロジェクト43件の応募がありました。ボードゥアン王財団（King Baudouin Foundation）*が運営する同ファンドの運営委員会は、プロジェクト選定と資金授与のため、地域ごとに独立選考委員会を複数立ち上げ、44件の支援プロジェクトと6件の研究プロジェクトの合計50件のプロジェクトを選出し、計2,440,000ユーロを授与することを決定しました。

今回の支援を受ける各国・地域の非営利団体や財団は、それぞれ、ホームレスの若者をサポートし自殺や自傷行為を防ぐためのプロジェクトや、最も弱い立場の孤立した若者が受けやすいCOVID-19の健康面及び社会心理面のリスクを軽減するための施策を開始します。日本の団体では、一般財団法人あしなが育英会*に授与された同ファンドによる支援金は、親を亡くしコロナ禍で経済的に苦しんでいる高校生や大学生に送られます。

一方、研究プロジェクト向けの助成金は、ベルギーと英国の若者の健康と福祉に対するCOVID-19の影響を研究する病院や大学に提供されます。

ユーシービーコミュニティヘルスファンドのXavier Hormaechea 事務局長は次のように述べています。「多くのプロジェクト申請があり、社会的弱者への支援の必要性の大きさを感じています。提案されたプロジェクトはどれも大変意義のあるものでしたが、選考委員会では、特に15歳～24歳の若者に対する持続的でポジティブな影響のある啓発的プロジェクトに注目しました。今回の資金提供により、提供を受けたすべての団体が、それぞれの地域社会で行っている素晴らしい活動を継続していけることを願います。」

一般財団法人あしなが育英会の関亨江（せき ゆきえ）事務局長は次のように述べています。「世界中の数多くのプロジェクトの中から、本会の活動を選んでいただき、大変光栄に思います。コロナによって困窮する遺児や保護者から、かつてないほど悲痛な訴えが届いており、本会は通常の奨学資金を取り崩して、7500人以上の遺児に総額25億円を緊急支援金として給付し

ました。街頭募金も実施できず資金的に非常に厳しい状況の中、ご支援をいただけることになり本当に心強く思っております。」

第1回プロジェクトの実施と並行して、運営委員会はすでに次の募集準備を進めています。対象テーマなどの詳細は決定次第発表します。

※ボードゥアン王財団について

ボードゥアン王財団の使命は、ベルギーをはじめとするヨーロッパ、そして世界のより良い社会に貢献することです。財団は、公益に貢献し、社会的結束を高めることで世界における変化と革新を推進しています。組織および個人のスキルを向上させることで財団のインパクトを高め、また、個人および企業による効果的な慈善活動を促進します。財団の最も重要な価値観は、誠実さと透明性であり、連帯、多様性の尊重、および独立性です。ボードゥアン王財団は、ボードゥアン王即位の25周年の記念行事として、1976年に設立されました。

※一般財団法人あしなが育英会について

あしなが育英会は病気・災害・自死などにより親を亡くした、あるいは親が重い障がいを持って、経済的に苦しい家庭の子どもたちを対象に奨学金や心のケアプログラムなど物心両面で支援を行っている民間の非営利団体です。国などから補助金・助成金は受けておらず、個人や企業、団体等からのご寄付で活動しています。年間7,000人以上の遺児が奨学金によって進学しています。現在は日本国内だけでなくサブサハラ・アフリカの遺児を世界の大学に留学させ、母国の発展に貢献するリーダーを育成する「アフリカ遺児高等教育支援」との両輪で活動を行っています。

ユージービーコミュニティヘルスファンドについて

ユージービーコミュニティヘルスファンドは、コロナ禍の状況に対応するため2020年に設立されました。ボードゥアン王財団が運営するこのファンドは、社会的弱者の中に見られる健康格差に取り組むことを目的とし、まずはCOVID-19がそうした人々の心身及び社会的なウェルビーイングにどのような中・長期的影響を与えるかを理解し、それらを軽減していこうという活動から始めています。具体的には、ファンドはユージービーが事業活動しているコミュニティにおける弱い立場の人々、例えば性的・民族的マイノリティ、子供、高齢者、社会経済的に不利益を被っている人々、無保険者・一部保険者あるいは何らかの疾患を抱える人々を支援していきます。

ユージービーについて

ユージービー (<https://www.ucb.com/>) は、ベルギーのブリュッセルに本社を置くグローバル・バイオフーマで、ニューロロジーや免疫・炎症領域の重篤な疾患と共に生きる患者さんのより良い生活の実現を目指して、革新的な医薬品の研究開発ならびにソリューションの提供に力を注いでいます。世界約36か国に拠点を置き、従業員数は約8,300名を擁しており、2020年度の収益は53億ユーロ(約6,510億円)でした。ユージービーはユーロネクスト・ブリュッセル証券市場に上場しています(シンボル:UCB)。

ユージービージャパン株式会社 (<https://www.ucbjapan.com/>) はユージービーの日本法人として1988年に設立され、抗てんかん薬「イーケプラ®」、「ビムパット®」、関節リウマチ治療薬および乾癬治療薬「シムジア®」を中心に事業を展開しています。これからも、患者さんにとっての価値を創造するバイオフーマリーダーとして、従来の治療で十分な改善が得られなかった患

者さんに新たな治療の選択肢を提供することを目指して、日本の医療・健康へ更に貢献することを使命としています。

この件に関するお問い合わせは、以下にお願いします。
ユーシービージャパン株式会社 広報
TEL:03-6864-7548
080-3700-5265